

(仮訳)
TICAD 7
閣僚事前準備会合
河野太郎外務大臣による挨拶
2019年8月27日 於:横浜

サーメハ・シュクリ・エジプト・アラブ共和国外務大臣

アフリカ各国閣僚の皆様,

各国閣下の皆様,

並びにご列席の皆様

この度は、横浜に、また第七回アフリカ開発会議(TICAD 7)閣僚事前準備会合に皆様をお迎えでき大変嬉しく存じます。共同議長シュクリ外務大臣とチームの皆様、TICAD 7の成功に向けて我々と共に一生懸命取り組んでいただいた TICAD 共催者の皆様に、まず感謝を申し上げます。

本題に入る前に、53 か国が署名しているアフリカ大陸自由貿易圏(AfCFTA)設立協定が発効したことに、この場をお借りして心から敬意を表します。これは人口 13 億人、GDP 総額 3 兆 4000 億米ドルの単一市場を創出するための大きな道標となります。日本の経済界も、AfCFTA を通じてアフリカでのビジネスを推進していけることを楽しみにしております。日本政府は「ワン・ストップ・ボーダー・ポスト」のような、連結性を強化する効果的な協力事業を通じて、AfCFTA の実施を支援する準備を万全にしております。

御列席の皆様

本閣僚準備会合は以下の3つの議題に焦点を当てます。

まず、TICAD 7 のプログラムを確認します。皆様のお手元に配布しています。

二つ目の議題は、昨日の高級実務者会合(SOM)にて合意された「横浜宣言 2019」案及び「横浜行動計画 2019」案を検討、承認します。本件は、金曜日の TICAD 7 の閉会式での採択のために首脳に提出するためのものです。

この点において、我々は、成果文書の文言について合意に至るようアフリカ諸国及び共催者が行った取組を高く評価します。また、ステークホルダー全員から有益な意見を頂き、こうした文書を魅力的で有意義なものにできますことに感謝申し上げます。最終稿を首脳会談に首尾よく提出できるよう皆様からの寛大な御協力をお願いします。

最後に、具体的な行動の進捗状況の報告です。皆様のお手元に「TICAD VI 報告書」として提示しています。同報告書は TICAD フォローアップメカニズムの一環であり、TICAD 事務局は定期的に TICAD 閣僚会合に報告することになっております。同報告書

は共催者が草稿を作成し、各セクターにおける TICAD VI 以降の様々なステークホルダーによる優良事例をまとめています。

スピーチを締めくくる前に、日本が国家承認していない主体の本会合及び首脳会合を始めとする TICAD7 への参加は、同主体の地位に係る日本の立場に影響を与えるものではないことを改めて表明したいと思います。

皆様方からの TICAD 7 成功に向けた継続的な支援に、改めて感謝申し上げます。また、本会合を通して建設的かつ生産的な議論が行われることを願っております。

ありがとうございました。

(了)